

こころ医療福祉専門学校佐世保校  
令和2年度第2回教育課程編成委員会議事録

【日時】令和3年3月14日（日）10:00～10:50

【会場】こころ医療福祉専門学校佐世保校 3階 会議室

【委員】出席：田中秀樹（長崎県柔道整復師会佐世保支部）

井手浩二（いで整骨院）

上田陽介（純心整骨院）

廣瀬典治、篠原卓也、鴨田亮平

（敬称略）

1 開会の辞（司会 篠原卓也）

本会の開会目的及び配布資料の説明を行う。

2 委員の紹介（司会 篠原卓也）

各委員の紹介を行う。

3 学校長挨拶（校長 廣瀬典治）

本日は、ご多用の中ご来校いただき誠にありがとうございます。委員の皆様には日頃より本校の教育方針にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

令和2年度第2回教育課程編成委員会を開催させていただきたい。本会の第1回目を8月に開催させていただきました。その節には、貴重なご意見・ご教示をいただき誠にありがとうございます。また、これまでに分科会の際にもご質問等をいただきありがとうございました。

今年はコロナ禍の中で、4月から5月にかけて休校となった。また、リモート授業として実施した講義もあり、国家試験を前に、学力向上に支障がなかったか心配していたが、3月7日（日）に実施された、第29回柔道整復師国家試験に17名受験できた。合格率は90%近くなる予定である。

少子化の中、入学生の減少傾向、学力向上の問題、そしてコロナ禍での学校運営等の問題や課題は少なくない。

このような状況の中での今年度の反省、改善点が主題となると思っている。

本日はご多用な中の貴重な時間をお借りすることになり、誠に恐縮ですが、業界・社会のニーズと時代に合った質の高い卒業生を社会へ送り出すために、皆様の忌憚のないご意見・ご教示をいただければ幸いです。

#### 4 スポーツ柔整科（学科長 篠原卓也）

##### （1）教育計画

今年度の反省でよかった点として、授業時間の変更。令和元年度は13時00分から18時00分、令和2年度からは10時10分から17時20分とした。今年度から授業終了時間を繰り上げたことにより、放課後補講や学生の自習時間の確保に繋がった。

改善点、外部実習の中止。新型コロナウイルスの影響により、8月の臨床実習を3月に延期したが、1月時点での感染者数の増加により今年度の臨床実習を内部実習に変更した。校外活動について、新型コロナウイルスの影響によりトレーナー活動やボディケア活動がほぼできなかった。

学生募集について、コロナの影響により会場ガイダンスが中止となり、高校生との接触がなかったことから高校生の出願が50%減となった。しかし、来校者数が少なかったが一人一人丁寧な対応ができた結果、入学希望率は上昇した。

募集数の減少の一番の理由は、ガイダンス減少による高校生との接触がなかったため、次年度はガイダンスに頼らず学校PRや業界PRが必要となってくる。このPRを行うためには、ネット・TV・DM等を活用し、魅力あふれる訴求方法が必要と感じる。

第29回国家試験について、現時点(2/1)では2名が3/7に福岡県の公務員ビジネス専門学校にて受験予定。(2/13の第3回卒業試験にて最終人数が決定する。)

就職内定者について、現時点(2/1)では10名が内定をもらっている。内訳は10名が整骨院。県内が5名(全て佐世保市内)、県外が5名である。

次年度募集に向けての取り組みとして、柔道整復師の魅力伝えるため、動画での配信を行う。他校との強みである個別指導の徹底を差別化した内容のサブパンフレット等を作成していく。新型コロナウイルスの影響による人材カットなどで就職難となっていくと考え、高校生はもちろんだが社会人募集も強化し資格取得のメリットをPRしていく。

##### （2）質疑応答

田中先生) 授業時間の変更による学生への影響(アルバイト、仕事など)について。

篠原先生) 2年生に聞き取りを行ったところ、午前中のアルバイトはできなくなっている者もいるが、夕方以降でのアルバイトについては時間が取りやすくなっているとの回答もあった。終わり時間が早まったことで勉強時間の確保がしやすくなったとの意見もある。

田中先生) 今年度新型コロナウイルスの影響により内部実習に変更したが次年度の外部実習の予定等はどうなっているか。

篠原先生) 現在の予定では8月～9月、12月、2月～3月に外部実習を予定しているが、新型コロナウイルスの影響次第では今年度と同様に内部実習に変更する可能性がある。

田中先生) 会場ガイダンスが中止になったが今後OCにつなげるためのオンラインでのガイダンスはどうか。

篠原先生) 一部の高校とはオンラインでのガイダンスを実施している。ガイダンスの仕組みについて、専門学校(本校)と高校の間に仲介業者が入っており、すべてのガイダンスはこの業者を通して本校に依頼が入る状況である。今後もオンラインでのガイダンス依頼があった場合は対応したいと考えている。

上田先生) 今年度のコロナウイルス対策はどうしているか。

篠原先生) 県外在中の非常勤講師のリモート授業、福岡県と神奈川県 of 先生 2 名である。非常勤講師は県内在住の方のみ。毎朝の検温、記録をさせる。教室、トイレ等の換気、除菌をしている。

上田先生) リモート授業の方法や、その利点や難点について。

篠原先生) Zoom を利用したリモート授業となっている。教員の映像をプロジェクターを利用して授業を行っている。利点として感染対策、教員の移動時間の削減。難点温度差が伝わりづらい、学生の表情がわかりづらい。

上田先生) 柔道整復師の国家資格取得のメリットについて。今後柔道整復師の資格を全く知らない人に対してどう PR していくか。

篠原先生) 開業権の有無、業務独占の資格である。機能訓練指導員、スポーツトレーナーになれる、コロナでも求人がある。

PR 方法、SNS のさらなる強化、整骨院から興味を持った方へのアプローチ。

井手先生) 広告内容による効果について。

篠原先生) 情報誌(ならでわ)、松浦鉄道、SNS 広告、映画館 CM の広告をしているが、直接の問い合わせはない。HP への誘導ができていればと考えている。課題としては、効果が明確に分かる広告の打ち出し方を今後工夫していく必要がある。

井手先生) 国家試験に向けての対策について。

篠原先生) 第 28 回国家試験から必修問題の出題内容が柔道、関係法規、柔整理論となった。柔整理論の内容は認定実技審査での出題疾患からの出題となったため、3 年生の補講ではそれらの疾患を重要視して実施している。さらに必修問題の参考書を 3 年生全員が購入し、学習に取り組んでいる。

3 年生での学習にスムーズに取り掛かるため、2 年生の後期から成績下位者に対して柔整理論と生理学の補講を後期から実施した。

田中先生) 学生本人の端末を使って、学生と先生をつなぐことは可能か。

篠原先生) 可能なら試してみたい。

廣瀬校長) 本館と別館の会議もリモートで実施している。

上田先生) 国家試験の必修問題が 3 科目になった理由はわかるか。

篠原先生) 3 科目になった理由は調べておく、デメリットとして 3 科目 50 問、過去の必修と一般の関係性が少なくなったため、勉強の範囲を徹底させなければならない。

田中先生) 捨てる教科を作ってしまう可能性がある。

篠原先生) 実際に捨てる教科を作っている学生がいた。

田中先生) 試験をすると忘れる為、卒業後に必要なことを重点的にするために 3 教科に絞っていると感じる。

- 5 全体の質疑応答  
特になし。
- 6 閉会の辞（司会 篠原卓也）  
以上で本委員会を終了する。